

# 北海道浮魚ニュース

平成 12 ( 2000 ) 年度 1 号 ( 通巻 No.71 )

2000 年 4 月 25 日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6222	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5997	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

## 道西日本海スルメイカ資源動向

日本海区水産研究所から日本海南西部海域におけるスルメイカ稚仔の分布状況が発表されましたので、これを含めて道西日本海スルメイカ資源動向をお知らせします。

### 1) 漁獲量 ( 図 1 )

1999 年 ( 昨年 ) の道西日本海のスルメイカ漁獲量は 33,590 トン ( 概数値 ) で、1998 年を上回り、海域別では道南海域の増加が大きかった。漁獲量の水準は近年 ( 1989 年以降 ) の高水準を維持している。

### 2) 漁船の CPUE と延隻数 ( 図 2 )

1999 年の小型いか釣り漁船の CPUE ( 1 隻 1 日当たりの水揚げ尾数または重量 ) は、松前、余市、留萌、稚内の各港とも前年を上回った。延隻数は前年につづき稚内港で大きく増加し、道央以北の漁獲努力量が高い傾向にある。

### 3) 稚仔分布密度 ( 図 3 : 日本海区水産研究所資料 )

毎年、秋季に日本海南西部海域で行われているスルメイカ稚仔調査の結果、2000 年 ( 今年 ) の漁獲対象となる 1999 年秋季の稚仔分布密度は、近年の高水準を維持している。

以上から、道西日本海のスルメイカ資源状況は、近年 ( 1989 年以降 ) の比較的高い水準を維持していると考えられる。しかし、近年の日本海に分布するスルメイカ資源は変動傾向が強く、今後の動向に注意を要する。

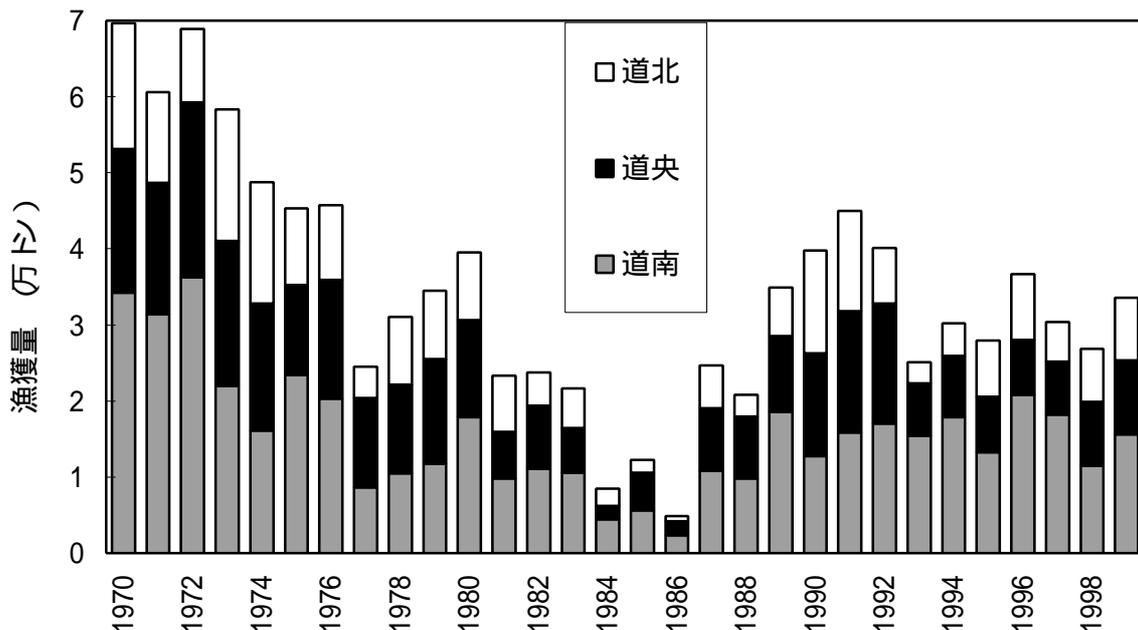


図 1 北海道日本海側におけるスルメイカ漁獲量の経年変化

注) 道南: 渡島 ( 松前・福島町のみ ) ・檜山支庁、道央: 後志・石狩支庁、道北: 留萌・宗谷支庁

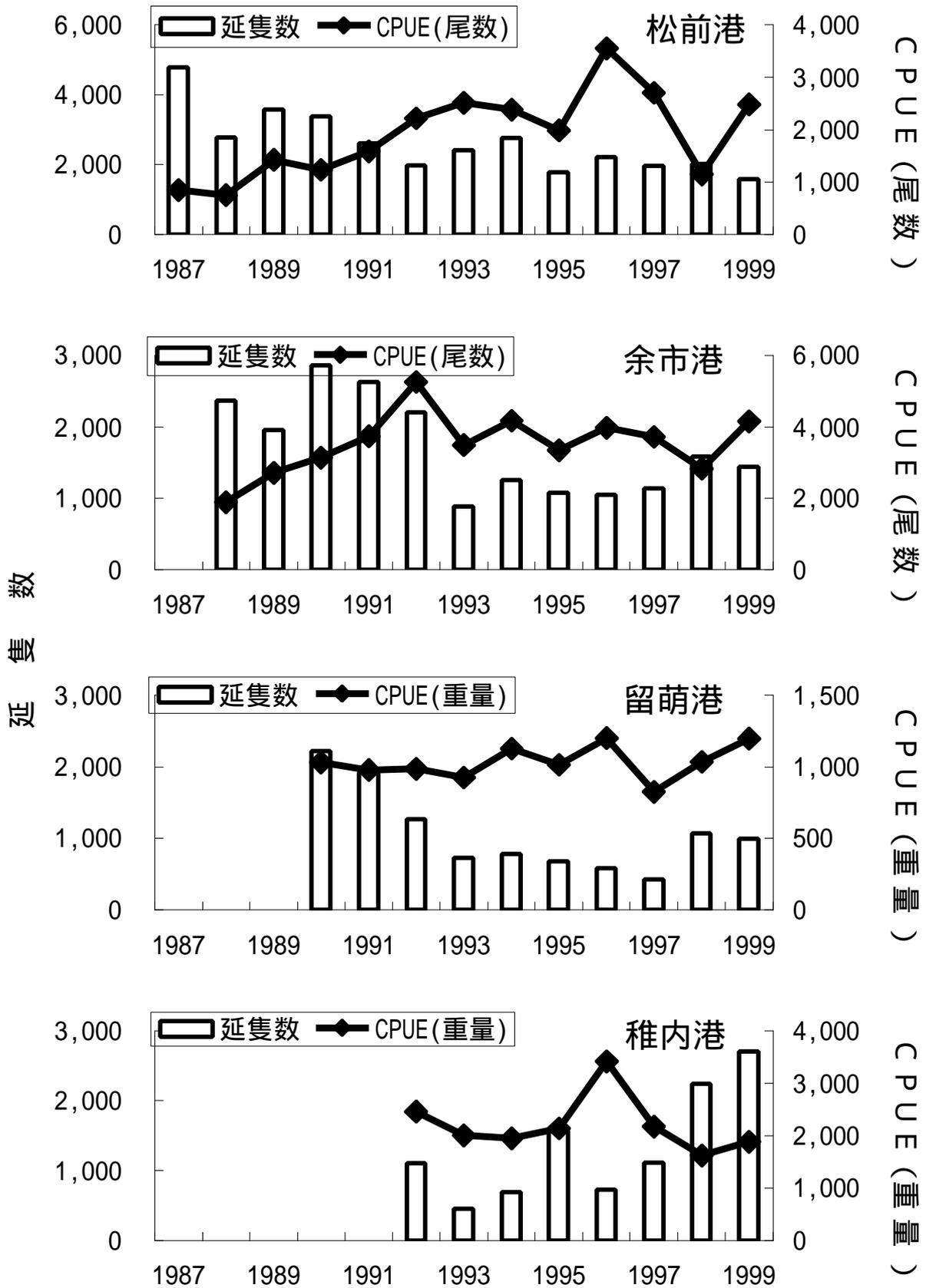


図2 松前・余市・留萌・稚内港における小型いか釣船の水揚げ隻数とCPUE

注) CPUE (尾数): 1隻1日当たりの平均漁獲尾数

CPUE (重量): " 重量

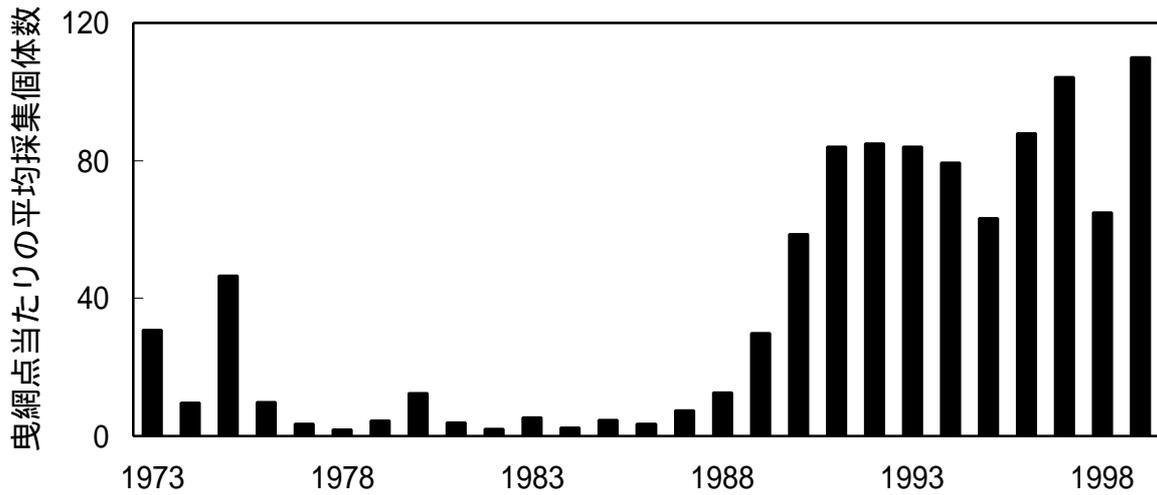


図3 日本海南西部における秋季のスルメイカ稚仔分布密度の経年変化(80R ネット)  
(日本海区水産研究所 資料)

.....

### 調査船調査予定

北海道立水産試験場では <sup>うきうお</sup>浮魚 調査、<sup>そこうお</sup>底魚 調査、海洋観測などの調査船調査を行っています。以下に、今年度の浮魚類調査の予定をお知らせします。

**おやしお丸** (中央水試) ... 海域：道央～道北日本海

スルメイカ調査 6月下旬～7月上旬、8月下旬～9月上旬

**北辰丸** (釧路水試) ... 海域：道東太平洋

イカ類調査 6月中旬～下旬、8月下旬、9月中旬、10月中旬

マサバ・マイワシ調査 6月下旬～7月上旬、8月下旬～9月上旬

サンマ調査 7月中旬～下旬、9月中旬～下旬

サンマ・マサバ調査 10月下旬

**金星丸** (函館水試) ... 海域：道南日本海～津軽海峡～道南太平洋

スルメイカ調査 5月下旬～6月上旬、7月上旬～中旬、  
7月下旬～8月上旬、8月下旬～9月上旬、10月中旬

スルメ・ヤリイカ調査 12月中旬、1月中旬、1月下旬

**北洋丸** (稚内水試) ... 海域：道北日本海～オホーツク海

スルメイカ調査 8月下旬、11月上旬、11月中旬

サンマ調査 9月中旬

(文責：中央水試資源管理部)